

- 主題名 いろいろな『好き』
- 教材名 『いろいろな性ってなんだろう?』
(出典:『いろいろな性ってなんだろう?』渡辺大輔監修 ポプラ社 一部改変)
- 人権学習の視点 個別的な視点 様々な人権問題(性同一性障害・性的指向)
- 主題・教材について

近年いわゆる「性的マイノリティ(少数者)」に対する認知は高まってきたものの、その理解は十分とは言えず、自分自身のありように悩んだり、周囲やメディアが発する否定的な発言に傷ついたりしている当事者も少なくない。学校において、そのような子ども達が安心して過ごせる環境を作るために、教職員を含め周囲の正しい理解が必要である。

本教材は、様々な性のあり方を知るための導入的な本を用いたものである。本時では、発達の段階に応じ、性のあり方や、恋愛の対象になる性は多様であることを理解させ、自分と違うことを理由に偏見を持ったり、差別をしたりすることなく関わろうとする態度を育てたい。

●ねらい

様々な性のあり方について考え、好きになる対象の(恋愛の対象となる)性は人それぞれであることについて知り、誰もが他者とは違う自分(の性)を大切にするとともに、偏見を持ったり、差別をしたりすることなく関わろうとする態度を育てる。

- 関連する教材 人権学習資料集<小学校編Ⅱ>世界に一つだけの花(4年生用)
- 本時の展開 ※実施にあたっては、学級の児童の状況や保護者の思いなどに十分留意すること。

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	あなたの性は、何ですか？				
	○自分の性について考えさせる。	一斉	○クイズに答える。	○クイズを通して、性についての関心を持たせる。 ○展開の中で、児童が気付けるようにするため、あえてここでは、答え合わせはしない。 ○クイズの第2問目「心の性と体の性」について、この後の展開で学習するので、ここでは詳しく解説せず、体の場合と同様に考えるように助言する。	クイズのスライド 資料1
		一斉	○自分の性について振り返り、人間には、様々な性があることを知る。	○「性」への思い込みをなくすため、 資料1 の教材を提示し、「性」には様々な形(心・体・好き)があることを伝える。 ○学級内に該当する児童がいることも考慮し、個別に聞くことは避ける。	
○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。			

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	いろいろな性ってどんなだろう？				
	○様々な性のあり方（「心」「体」「好き」）について理解させる。	一斉	○様々な性のあり方について「心」と「体」と「好き」の3つの側面があることを理解する。	○「いろいろな性」についての理解を深めるため、「心」と「体」と「好き」に分けて説明をする。 ○保健の授業での学習と関連を図りながら進める。	資料2
	いろんな人の話から、感じたことを話し合おう				
	○様々な性のあり方について、当事者の言葉を読ませる。 ○感じたことを交流させる。 ○性のあり方は多様であることを説明する。	グループ 一斉 一斉	○様々な性のあり方について、当事者の言葉を読んで感じたことを話し合う。 ○出された意見を交流する。 ○性のあり方は多様であることについて知る。	○驚きや疑問も含め、素直に自分の感じたことを出し合うために、 <u>資料3</u> の様々な人たちの話を紹介する。 ○意見としてまとめず、どんな感想が出されたかを交流する。 ○学級内の個々の児童の状況に配慮すること。 (指導者用資料参照)	資料3
まとめ	○本時のまとめ	個別 一斉	○感想を書き、交流をする。	○クイズの答えを確認しながらまとめる。 ○いろいろな「好き」があることに対して偏見を持ったり、差別をしたりすることが、当事者を深く傷つけることをまとめた上で感想を書かせる。	

●評価

様々な性のあり方について考え、好きになる対象の性は人それぞれであることについて知り、誰もが他者とは違う自分（の性）を大切にするとともに、偏見を持ったり、差別をしたりすることなく関わろうとする態度を養えたか。